

令和6年度 第2回 南陽中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月24日（木） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 南陽中学校 会議室
- 3 出席委員 増田哲也・加藤裕之・鈴木和枝・増田亜美・赤星順子・水野真宏（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 欠席委員 菅野洋子
- 5 オブザーバー 南陽協働センター 古橋一哲
- 6 学 校 大城定則（校長）・高塚陽子（教頭）・若原昌史（教務）・三高奈緒子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野知子
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター三高奈緒子

10 議長の選出

赤星順子委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）学校基本方針を受けての支援策の具体化について

- ・ 部活動地域移行について
- ・ キャリア教育について

（2）学校評価アンケートの項目の検討

12 会議記録

司会の高塚から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校基本方針を受けての支援策の具体化について

議長の指示により、学校基本方針を受けての支援策の具体化について校長から説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 部活動地域移行は、南陽中は周辺校の東陽中、東部中の生徒と先生と一緒に部活を行うということでしょうか。（加藤委員）  
→少子化により子供の数が減り、部活動の人数を集めるのが難しくなり、部活の数が減る。周辺校と一緒にやっていくことも一つの方法だと思う。（校長）
- ・ 指導者の働き方改革も関係していると思いますが、持続可能なやり方にするための地域移行なので、これまでのように先生に奉仕を強いてはいけません。指導者の確保が問題だが、休日の部活動を民間にお願いするなら報酬をしっかりと払うべき。行政には予算を考えてもらわないと。（加藤委員）
- ・ 平日は学校で部活動をし、休日は地域のクラブで指導者も別になるのか。（加藤委員）  
→そうです。平日の部活動はある。中体連の大会もあるのでそれに向けて練習する。（校長）
- ・ 高校ではこれまで通り部活はある。高校から始めるのでは入りにくい種目の部活もある。部活動での集団行動で得られるコミュニケーション能力は、就職の集団面接や社会に出たときも必要だ。部活ではクラスや学年が違った仲間ができ、そこで話しをして悩みが解決できる

こともある。(増田亜美委員)

- ・ 平日の部活動は学校の領分ですが、土日の休みの日の部活動は学校教育の範囲外。部活で子供たちが育つというのもあるので学校で平日教育活動として部活をやるのは良い。休日の部分のことは学校で議論するのではなく、市や県で考えるべきである。平日休日と分けて考えるべきである。(加藤委員)
- ・ 中学校進学時に、居住区外の中学校も選べますが、距離だけでなく、どんな部活動があるかもポイントとなってくる。子供たちの数は学校経営にも関わってくる。〇〇中ではこんな部活がありますよとアナウンスして生徒を集めていくことになるのでしょうか。(鈴木委員)
- ・ 今の2年生は部活がなくなると誤解して入らなかった子が多いので、平日の部活はこれまで通りあるとしっかり伝えてほしい。子供がクラブチームに所属しているが、その様子からするとクラブチームは中体連には出られず、リーグ戦では上位5校の強いチームがほぼ決まっており勝てないので、遠征試合によく行くが費用がかさむ。指導者もコンプライアンスが厳しく成り手がいない。(増田亜美委員)
- ・ 吹奏楽はチームで毎日演奏しているので、土日は違う人たちと別の場所で、というのは無理がある。指導者も変わって、曲も違っては。(赤星委員)
- ・ 地域の水防や消防団も年間報酬が多く出る地域はそれなりに人数が集まる。指導者をボランティアで賄うのは無理。指導者がいて、場所を選択し、活動場所が決まるという順番。(増田哲也委員)
- ・ 部活動のある先生は出勤時間を遅くするなどシフト制にするのはどうか？(水野委員)  
→先生は授業があり、1時間空きがあるぐらいの状況なので不可能である。(校長)
- ・ 愛知県は完全移行している。愛知県のチームから土曜に練習に誘われることもあるが浜松は土曜にも部活があるので人数が揃わない。(増田亜美委員)
- ・ 平成4年に学校週5日制をテーマにオーストラリア、ニュージーランドに視察に行った。部活動はなく、子供は民間の習い事に通っていて、先生も授業だけを受け持っている印象だった。(加藤委員)

## (2) 学校評価アンケートの項目の検討

議長の指示により、学校評価アンケートの項目の検討について教務から説明があり、わかりにくい言葉や、気になる点があれば、委員は、後日学校に連絡することになった。

## 13 学校支援コーディネーターからの報告

10月16日に学校支援コーディネーターのCS研修会に参加した。東部中、飯田小、相生小のコーディネーターとディスカッションし、東部中の自転車通学の事故を減らすための取り組みの話聞いた。私の仕事は学校と地域をつなぐことなので、研修で学んだことを生かして行動に移していけたらと思う。10月の3連休に行われた立野町の秋祭りでは南陽中学校の和太鼓「鼓星」と吹奏楽部にお声がけさせていただき演奏に来ていただいた。子供たちの一生懸命な演奏で住民は盛り上がった。子供の元気な姿を地域に見せられる場が増えればと思う。

## 14 その他連絡事項

司会から次回会議は2月19日(水)会議室で開催する旨の報告があった。